

# 建築資格研究会

2015年1月に講座を開設し、早7年となりました。当初、HP来訪者は約10名/日でしたが、現在多い時は1000名/日を超えています。2021年1月から、スマホ・パソコン学習強化から音声解説を組込み、4月からYouTubeを開始しました(2021年11月からPDF資料はノート形式でアップ)。その後、様々なご意見を頂き、実行委員で協議した結果、2022年1月から当HPは1級建築士の特化講座に変更し、国内初となる全学科のYouTube解説を目指します。1級建築士の学科試験も製図試験も、当講座を見て頂くだけで合格できたとさせて頂けるように全力を尽くします。

## 1. 建築資格研究会とは

建築資格研究会は、建築業界に長年勤務した仲間5名<sup>※1</sup>が、「**建築を志す若い方の育成に少しでも寄与したい**」という趣旨から2015年1月1日に設立しました。当初、若い方に聞き取り調査をした結果、多くの方から「**一級建築士の格安講座を開いてもらいたい**」との意見<sup>※2</sup>がありました。そこで、「**1級建築士**」の講座をインターネットを通して**無料**で提供しようとなり、実行委員5名の寄付金200万円によりHPを開設しました。2015年の1年間は全て無料で公開したが、HPの維持管理費と過去問の使用許諾<sup>※3</sup>のため、2年目から年会費のある「**会員講座**」を追加しました(年会費**2万円/年**)。会費は、HPの維持管理費のみに使用し、資料は実行委員が無償で作成しています(研究会は利益を追求する企業ではありません)。

※1 仲の良い友人5名(全員1級建築士、内1名構造設計1級建築士、1名設備設計1級建築士)で研究会を立ち上げました。

※2 1級建築士取得に資格学校へ通学しているが合格できず、独学も自信が無く、格安で学べるネット講座開設の要望が多かった。

※3 過去問は、公益財団法人建築技術教育普及センター(以下、センターと言う)から会員講座での公開を条件に使用許諾を受けています。

## 2. 聞き取り調査での要望

2014年に実施した1級建築士の聞き取り調査では、次の要望が集まった。

- ① 学科講座では**過去問20年**等が一目で見れるような資料、製図講座では高確率で的中する**予測課題**を取りまとめてもらいたい。
- ② 通勤時には**スマホ**、昼休みは**パソコン**で何時でも何処でも見れる講座にしてもらいたい(PDF打出し含む)。
- ③ 他社多くの講座は、数十万円と高額なため、**無料**か、それが無理なら年会費を1ヶ月のお小遣い程度にして欲しい。

## 3. ひと休み「建築実務の話」と「名著を紹介」の組み込み

研究会は、当初「**建築実務の解説**」をするHPを作りたいかった。しかし、聞き取り調査の結果、「**建築実務の話**」よりも「**1級建築士の資格講座**」にして欲しい要望が大多数であり、方向性を変更した。実行委員からは、「約30年の実務ノウハウを何らかの形で伝えたい」となり、建築実務に役立つテーマを抽出し、「**ひと休み建築実務の話**」として組み込みました。資格は今取得すべきものですが、実務は一生を掛けて身に付けるものです。ここでは、建築実務について、全てのしがらみを取り除き**純粋な技術**として解説することにしました(企業への忖度無し)。

その後、「**建築の話だけではひと休みにならない**」との意見があり、2020年には「**ひと休み名著を紹介**」を追加しました。皆様に少しでも寄与する**名著**を選び1枚にまとめましたので、ひと休みに一読頂ければ幸いです。

## 4. HPのメリットとデメリット

### 【メリット】

- ① スマホ&パソコン(PDF打出可)で何時でも何処でも自分のペースで学習ができます。
- ② 全科目のYouTube解説を目指し、資格学校に通学しなくても、このHPだけで合格できたとさせて頂くような資料を提供します。
- ③ この種の講座、学科も製図も全ての資料が見れて年会費2万円/年は、極めて安い価格設定となっています。

### 【デメリット】

- ① 資格学校のような対話型ではなくHP内での資料公開であり、学科とYouTubeの質疑対応をしていません(製図のみメール対応あり)。
- ② 利益を求めた企業ではなく(専属の担当者がいない)、事務局は1日1回メール確認をするが、迅速な対応ができていない。
- ③ 資料は実行委員が無償で作成、毎週月曜日に追加資料をアップしており、手作り感を脱却できていません(誤字脱字は適宜修正)。

## 5. スマホ・パソコン対応強化として「音声ポイント読上」と「YouTube講座」を開設

スマホ・パソコン学習を強化するため、2021年から次の2つの新しい講座を公開中です。令和3年の学科試験は、2022年1月からは、国内初の全科目YouTube講座を目指します(2021年12月には、2級建築士、構造設計1級建築士、設備設計1級建築士の講座を停止削除します)。

- ① 「**音声ポイント読上**」を2021年1月から新設(過去問20年のポイント一覧表をパワーポイント音声読上)
- ② 「**YouTube講座**」を2021年4月から新設(学科YouTube講座、製図YouTube講座)

## 6. おわりに

多くの方からご連絡を頂く中で、「学科で2年、製図で3年学校に通い、200万円以上を掛けても合格できず、もうあきらめようとしたとき、当講座をネットで見つけて再度学科からチャレンジしようという気持ちになった」と言うメールを頂きました。当講座は、そのような方にも**再度試験にチャレンジ**したいと思えるようなHPにしたい。また、1級建築士の製図試験は、合格者の約9割<sup>※4</sup>が資格学校に通学している方です(資格学校の合格率は約50%<sup>※5</sup>)。当HPは、通学しない方も通学している方も、このHPが有益だった、このHPにより合格できたとさせて頂けるように全力を尽くします。

※4 H27製図合格者3,774名、公表されたS社2,149名とN社1,145名で合格占有率87%、その他非公表含め9割強が資格学校と想定。

※5 資格学校から公表された数値は合格率ではなく占有率です(S社は単純に受講者比率が高く占有率も高いです、合格率は約50%と想定)。

研究会は利益を追求する企業ではなく、実行委員5名(全員が現役サラリーマン)が休日等を活用して資料を無償作成しています。HPは皆様からの意見を取り入れ、より良い講座となるよう地道に更新しています。現在、会員も徐々に増加し「外注費のある音声読上やYouTube講座」を始められる状況になりました。2021年4月から開始したYouTubeも10月で登録千人を超え、広告が付くようになり、ご不便をお掛けしますが、収益はYouTube音声変換の外注費等での維持費のみに使用しますので、ご理解頂けますようお願い申し上げます。最後に研究会は、宣伝費を掛けていないので知名度が低いです。今後も日々努力して有益な資料を提供しますので、皆様から**口コミ宣伝**をして頂ければ幸いです。

「**建築資格研究会**」実行委員